



文化庁委託事業  
「令和2年度次代の文化を  
創造する新進芸術家育成事業」



# 新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ 第60回広島

新進演奏家育成プロジェクト



オーボエ  
川本 伶美

[東京藝術大学 在学中]

モーツアルト

オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314



柴田 優香

[エリザベト音楽大学 在学中]

ドニゼッティ 歌劇「アンナ・ボレーナ」より  
“私の生まれたあのお城”

ヴェルディ 歌劇「椿姫」より  
“ああ そはかの人か 花から花へ”

オーディションによって選ばれた将来を期待される音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演！  
限りない可能性を秘めた、若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください



若林 麗

[桐朋学園大学 在学中]

プロコフィエフ

ヴァイオリン協奏曲第1番  
ニ長調 Op.19



進 正裕

[昭和音楽大学大学院 在学中]

トマジ サクソフォン協奏曲

2021.2.17 [水]

開演18:30 [開場18:00]

JMSアステールプラザ大ホール

全席指定 2,500円

チケット発売日

2021年1月18日(月)

ローソンチケット (Lコード: 61459)、チケットぴあ (Pコード: 189-607)、広響事務局



指揮：末廣 誠



管弦楽：広島交響楽団

お願い

新型コロナウイルス対策のため、チケットの裏面に  
お名前とお電話番号の記載をお願いしております。

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

主催：文化庁、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会 制作：公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会 後援：中国新聞社

お問い合わせ：広響事務局 TEL.082-532-3080 [平日 9:00～17:20受付]



## 川本 伶美 [オーボエ]

Remi Kawamoto

広島県出身。3歳よりヴァイオリン、7歳よりピアノ、14歳よりオーボエを始める。

広島県瀬戸内高等学校を卒業後、東京藝術大学に入学。現在1年次在学中。

これまでにオーボエを板谷由起子、和久井仁の各氏に、現在吉井瑞穂氏に師事。室内楽を須川展也氏に師事。

第41回ハイスクール・ミュージック・コンサート最優秀賞受賞

第36回中国ユース音楽コンクール管楽器部門最優秀賞受賞にて記念演奏会に出演

第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会オーボエ部門第3位(第1位、2位なし)

## 若林 麗 [ヴァイオリン]

Rei Wakabayashi

広島市出身。3歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園子供のための音楽教室(広島教室)に入室。

第67回、第69回全日本学生音楽コンクール大阪大会小学校の部、中学校の部入選。第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会ヴァイオリン部門中学校の部、第4位。第9回ベーテン音楽コンクール全国大会弦楽器部門中学校の部、第1位。第11回同コンクール全国大会弦楽器部門高校の部、第1位。第1回桐朋ジュニアコンクール in 広島にてグランプリ受賞。第33回広島サマー・コンサートにてヤマハ賞受賞。

2020年3月、桐朋女子高等学校音楽科卒業、成績優秀者による卒業演奏会に出演。現在、桐朋学園大学音楽学部1年在学中。これまで村上直子、浦川宜也、篠崎功子の各氏に師事。



## 柴田 優香 [ソプラノ]

Yuka Shibata

岩国市出身。エリザベト音楽大学演奏学科声楽専攻に特別奨学生として入学。現在4年次在学中。来年度には5年プログラム生(早期卒業制度)として大学院卒業予定。

エリザベト音楽大学ザビエル賞受賞。岩国優秀文化賞受賞。第25回日本クラシック音楽コンクール優秀賞受賞にて、全国大会出場。第70回全日本学生音楽コンクール入選。第59・60・63・64回山口県学生音楽コンクール金賞受賞。第12回東京国際声楽コンクール大学生部門第5位。

広島シティオペラ主催オペラ『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役でオペラデビュー。花キューピットオーブンにて国歌独唱。

岡村美穂・赤川優子・枝松瞳・折河宏治の各氏に師事。

## 進 正裕 [サクソフォン]

Masahiro Shin

1996年島根県浜田市生まれ。3歳からピアノを、12歳からサクソフォンを始める。

エリザベト音楽大学演奏学科管弦打楽器サクソフォン専攻を卒業。同大学卒業演奏会に出演。

第21回大阪国際音楽コンクール木管楽器Age-U部門において第1位を受賞、第30回日本クラシック音楽コンクールサクソフォーン部門大学の部において第2位(最高位)を受賞、第1回東京国際管楽器コンクール木管ソロ部門において第3位を受賞。その他、国内のコンクールにおいて多数入賞を果たす。第16回サクソフォーン新人演奏会、第35回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。

サクソフォンを有村純親、大森義基、正田桂悟の各氏に、室内楽を赤坂達三、小山弦太郎、宗貞啓二の各氏に、即興演奏を平野公崇氏に師事。

現在、昭和音楽大学大学院修士課程に在学中。

(株)クライスエムイー『まなぶ音ライン』講師。



## 指揮／末廣 誠

桐朋学園大学修了。1989年、N.リムスキー=コルサコフのオペラ『サルタン王の物語』の日本初演において訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年ハンガリーにおいてサボルチ交響楽団を指揮。同年、ワイマールで開催された国際セミナーで

イエーナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に“真にプロフェッショナルな指揮者”と称賛される。1991年、第4回フィツテルベルク国際コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年よりボーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の主席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として多くの作品を指揮している。

帰国後は群馬交響楽団を経て1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、多岐にわたる活動を続けている。2016年には、

ウイーン楽友協会合唱団のモーツアルト「レクイエム」を指揮し大好評を得た。高いレベルの演奏を引き出す手腕には定評があり、今後の活躍が期待されている。また、執筆活動のほか演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。



## 管弦楽／広島交響楽団

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウイーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーラー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。

公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

## 広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べて高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。ご入場に通常よりお時間がかかる場合がございますので、時間には余裕をもってご来場ください。



会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内の不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブロード」などのお声がけもおやめください。



客席は間隔を空けてお出しいたします。指定の席でご鑑賞ください。入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。

感染症予防対策のため、出演者への贈り物はご遠慮ください(お預かりは行いません)。